



宇宙の子

笑顔 輝き つながる 学校～チーム三隅～

浜田市立三隅小学校

浜田市三隅町古市場450

No.5 令和2年9月30日発行

文責 校長 樋野淳巳

2学期が始まり、1か月がたちました。9月の初めまでは、残暑が厳しく運動会の練習にむけて熱中症の心配もしなければいけない状況でしたが、9月も半ばを過ぎ、すっかり秋めいてきました。学校でもヒガンバナが咲き、季節を感じさせています。2学期は学校行事が多い学期です。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため1学期の学校行事も2学期に延期したものがああります。感染対策を進めながら、子どもたちにとって充実した2学期であるよう頑張りたいと思っています。

子どもの成長を感じた運動会

9月19日(土)、澄み切った青空の下、運動会を開催することができました。種目を削減するなどして時間短縮を図ったり、保護者の方の応援席を変更したり、応援合戦のやり方を変えたりと、例年の運動会とは違ったものになりました。それだけに、準備の段階から子どもたちの応援の仕方や種目の出入りに工夫の見られた運動会になりました。当日の運動会でも、子どもたちの頑張りを見ていただくことはできたと思っておりますが、運動会当日に向けて練習を重ねる中で子どもたちの成長を感じました。

各組の最初の集会を見ていると、それぞれの組をどうまとめるか自信のなさそうな高学年の姿が見られ、下の学年も協力していこうという気持ちあまり感じられませんでした。これは、1学期にそのような活動があまりできなかったから致し方ないことだとみていました。しかし練習を重ねる中で高学年(特に6年生)の姿に変化があらわれました。下の学年をどう動かすか、運動会の役員としてどう動くか成功につながるか、段々と意識できるようになってきました。下の学年も上の学年に協力していこうとする思いが伝わってくるようになりました。各組の集会でも落ち着いて取り組んでいる姿が多くみられ、高学年の指示が下の学年に伝わっているなど感じさせました。運動会当日の子どもたちの頑張りも大事ですが、当日に向けて頑張る子どもたちの姿を見ると、運動会を行う意義をより感じます。

保護者の方には、応援席のことや昼食のことなど、ご無理なこともお願いいたしました。また地域の方には、来賓で来られることをご遠慮いただいたり、敬老席を設けたりしませんでした。しかし、子どもたちは、スローガンにあったように「一致団結」して運動会に取り組みました。この頑張り在今后の学校生活に活かしていけるよう、2学期も取り組んでいこうと思います。

人権の花

例年と同じように、今年度も人権の花を環境委員会の子どもたちが育てています。1学期の終わりには、種まきをして苗まで育てたものを三隅保育園・三保保育園に受け取っていただきました。子どもたちが花を育てる活動をとおして、相手を思いやる心も育ててほしいと思います。特にコロナ禍で人権感覚が問われていますので、このような活動をより大切にしていきたいと思っています。



【最近の出来事】

(運動会より)



6年生にとっては、小学校生活最後の100M走でした。



青空の下しっかり身体を動かし、運動会を満喫しました。



大声を出さないだけに、振りや隊形など工夫しました。どの色も前日まで練習を重ねました。



鼓笛は高学年で演技を行いました。例年より短い練習時間で取り組みました。

(そのほかの活動から)



夏休みにPTA奉仕作業をしました。おかげで、きれいな環境で2学期を迎えました。



1学期でできなかった読み語りをスタートしました。木曜日の朝、地域のボランティアに来ていただいています。



9月の全国味めぐり給食は広島でした。委員会の子どもが献立を説明しました



5年生は、しろやま営農組合やJAの方の協力で稲刈り体験をしました。今年は田植えができなかったので、コンバインだけでなくトラクターや田植え機についても説明を受けました。